

# 道の駅「鴨川オーシャンパーク」 との連携事業報告

1. 鴨川及び周辺地域における観光魅力の情報発信プロジェクト
2. 食を介した地域貢献プロジェクト
3. 利用者動向の調査プロジェクト

城西国際大学観光学部  
ウェルネスツーリズム学科  
小熊 祥太・鈴木 雄也



# 鴨川及び周辺地域における 観光魅力の情報発信プロジェクト



城西国際大学観光学部  
観光プロジェクトaチーム

# プロジェクトの目的



道の駅

鴨川オーシャンパーク

- ・ 休憩機能
- ・ 情報発信機能
- ・ 地域との交流機能



1～2時間ほどの時間を消費できる地域を紹介



1. まち歩きに魅力がある
2. 食事ができる店がある
3. 地元の名産品を購入可能
4. 駐車場がある
5. 物語性がある

地域への回遊性を高めることが地域振興の一つ



# プロジェクトを通して学んだこと

- ▶ 限られた時間のなかでプロジェクトを成功させる難しさ
- ▶ 地域の魅力は日常の中にある非日常性にあること
- ▶ 自分が「見たもの」「感じたこと」そのものを伝える重要さ
- ▶ 「共感」が旅の感動を導く

# 食を介した地域貢献プロジェクト

城西国際大学観光学部  
観光プロジェクトbチーム

## 4月～7月 道の駅調査



▲グループに分かれて取材を行った千倉 潮風王国



▲各道の駅での調査報告のプレゼンテーション

# オーシャンパーク視察



▲鴨川オーシャンパークでの現地取材



▲城西国際大学観光学部にて鴨川オーシャンパーク渡辺店長による講義



## 9月～1月 商品開発



▲お弁当のデザインについてのディスカッション



▲元大手ホテル総料理長馬場先生の監修のもと行われたメニュー開発

2月6日 販売



▲房総太海のたまてばこ

鯛ごはん、焼うどん、鶏肉の照り焼、オムレツ、枝豆の天ぷら、鯨の竜田揚げ、鯛の塩焼き、カボチャのグラタン、筑前煮、菜花のピーナツ和え、杏仁豆腐



▲千葉県産「ふさおとめ」を使用したお米のムースと  
鴨川名物地酒「寿萬亀」を用いたシロップ



# 利用者動向の調査プロジェクト

城西国際大学観光学部  
観光プロジェクトcチーム

# 道の駅でのアンケート調査を実施

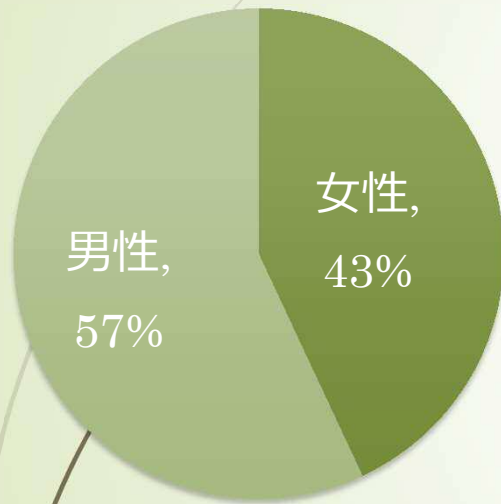
- ▶ アンケート内容
  - ▶ 質問項目は、①回答者の属性（7問）、②回答者の動向調査（7問）の計14問の2部構成
  - ▶ アンケート調査は、2015年5月から実施中
  - ▶ アンケート調査は、100名の回答を得たので、空白部分のない79名を有効回答とした



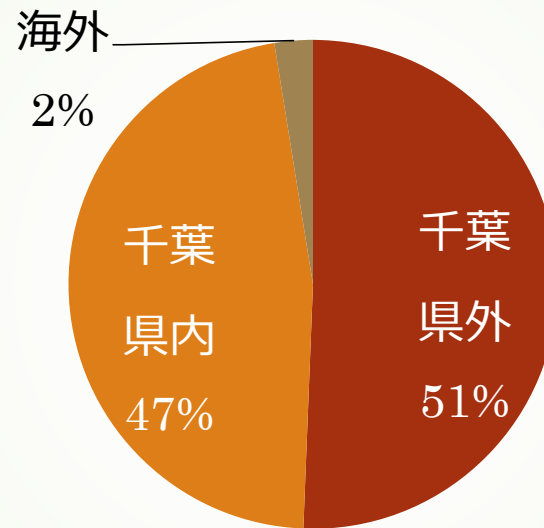
# 調査結果：回答者の属性情報①

N=79

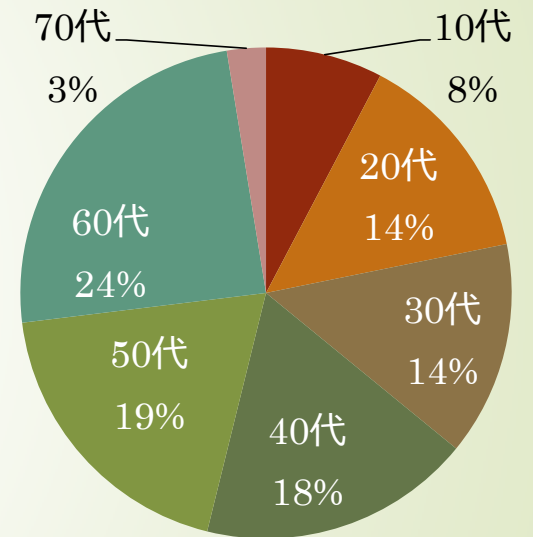
## 性別



## 居住地域



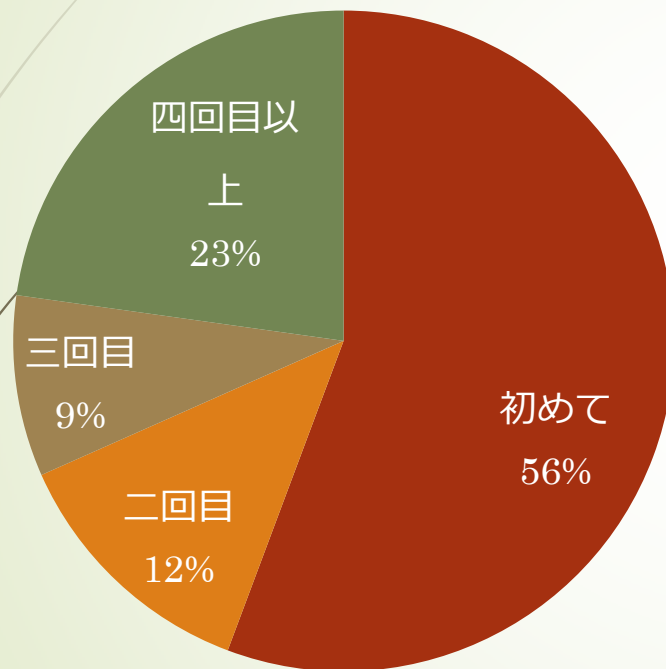
## 年齢



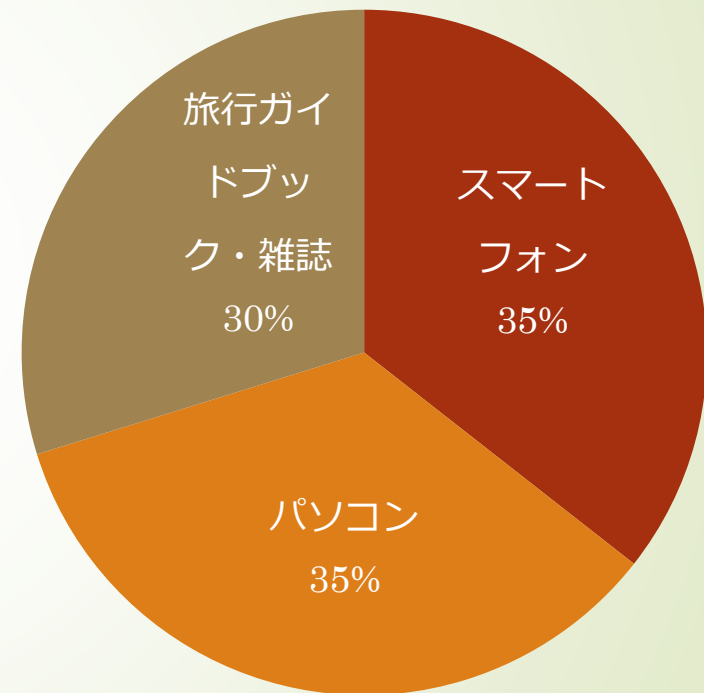
## 調査結果：回答者の属性情報②

N=79

鴨川オーシャンパークへの訪問回数



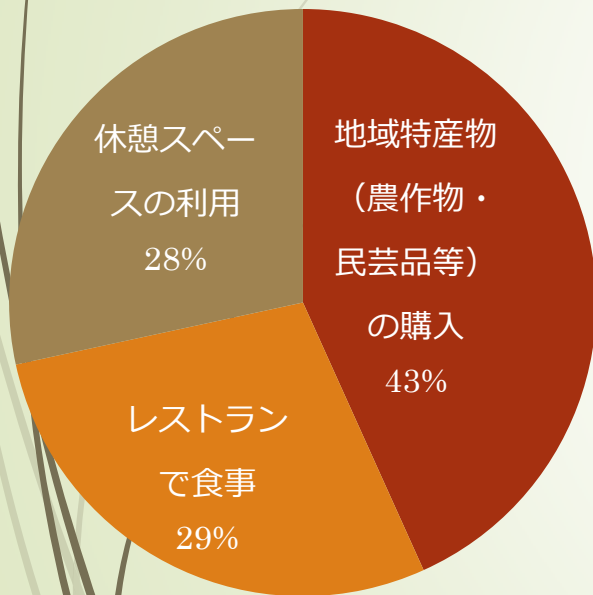
主な情報収集手段（複数回答可）



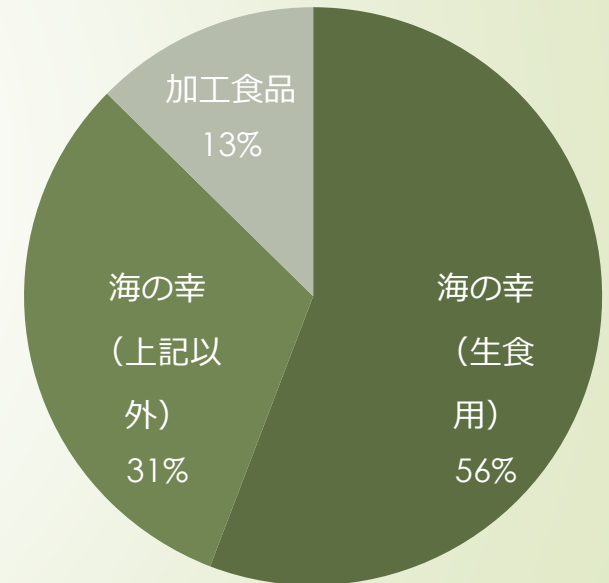
# 調査結果：回答者の動向調査

N=79

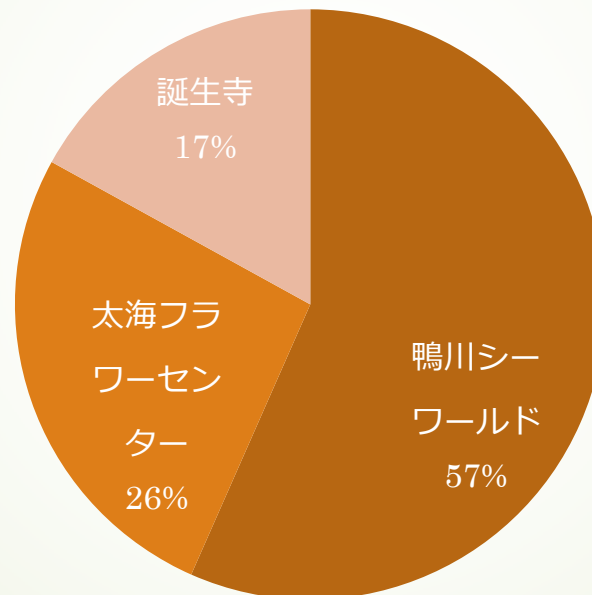
鴨川オーシャンパークを訪れた理由  
(複数回答可)



鴨川オーシャンパークの「食」への期待  
(複数回答可)



鴨川市内の訪問予定、もしくは訪問した観光地  
(複数回答可)



## まとめ

- 鴨川オーシャンパークを訪れた主な理由の上位は、地域特産物の購入、レストランで食事、休憩スペースの利用である。
- プロジェクトaでは「道の駅」の情報発信機能の実証研究として、鴨川オーシャンパーク周辺地域の情報提供を今後も継続実施予定。
- 利用者が鴨川オーシャンパークへの「食」に期待するものは主に海の幸であるため、プロジェクトbの新たな商品開発に活用。
- 観光プロジェクトcでは、引き続き上記のプロジェクトへの提言を行うため、アンケート調査を継続。





ご清聴ありがとうございました。

城西国際大学観光学部